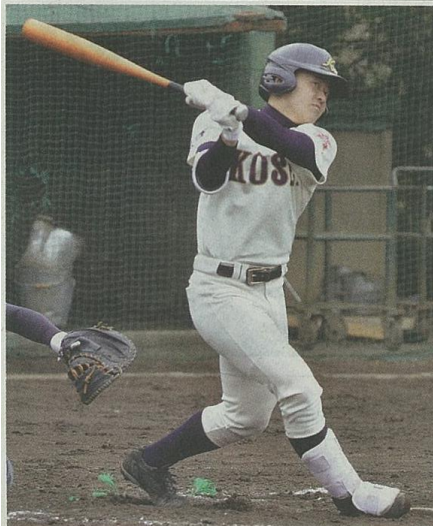


# 光星主力 打線好調

## 練習試合 太成学院大高から15点

第88回選抜高校野球大会に出場する八学光星は16日大阪府四條畷市の太成学院大高野球場で、同校と練習試合2試合を行った。主力が出場した1戦目は打線がつながり、15点で大勝。七回まで毎回得点で計20安打を放ち、各打者が好調ぶりをアピールした。



練習試合で3安打を放ち、好調をアピールした八学光星の小林直輝。16日、大阪府四條畷市の太成学院大高野球場

太成学院大高は昨秋の近畿地区大会大阪府予選16が6回1失点にまとめた。回戦で敗れた。1戦目は4番に主戦櫻井一樹を入れるなど、打順をやや組み替えた。敵陣で1点を先制して迎えた、回奥村幸太が左越えに2ラン。三回は伊藤優平の左飛と奥村の左越えの点塁まで3点を加え、序盤でリードを広げた。その後攻撃の手を緩めず、2番奥村、3番田城飛翔、8番小林直輝は3安打。光星と青森山田は17日、それぞれ30分間の甲子園練習に臨む。(戸康政)

### 登録外で帯同・向井(三中) ピンチ抑え「いい経験」



練習試合で登板を重ね、経験を積む八学光星の向井詩恩

練習試合で3安打を放ち、好調をアピールした八学光星の小林直輝。16日、大阪府四條畷市の太成学院大高野球場

登録選手18人以外にも、一部がチームに帯同し練習試合に出場している。16日の第2戦ではその一人、左腕向井詩恩(三中)が出場。五回途中、1死満塁のピンチに登板。後続を三振と中飛びで打ち取ると、七回まで無失点に封じる快投を見せた。「全国制覇を目指してここに来た」との強い覚悟を胸に、光星で過ごした1年間。昨夏の青森大会決勝で三沢商に敗れた先輩たちの姿に「地元の公立校に負けて悔しかった。1球の大切さを感じた」と、中学時に肘を痛めていた

登録選手18人以外にも、一部がチームに帯同し練習試合に出場している。16日の第2戦ではその一人、左腕向井詩恩(三中)が出場。五回途中、1死満塁のピンチに登板。後続を三振と中飛びで打ち取ると、七回まで無失点に封じる快投を見せた。「全国制覇を目指してここに来た」との強い覚悟を胸に、光星で過ごした1年間。昨夏の青森大会決勝で三沢商に敗れた先輩たちの姿に「地元の公立校に負けて悔しかった。1球の大切さを感じた」と、中学時に肘を痛めていた



### 打撃修正で手応え

光星 ⑱小池智也(2年)  
＝外野手、大阪・南高安中出

16日の練習試合では1戦目に9番で先発出場し、2安打2打点でした。15日夜の練習で、小濱巧聖コーチから「体が突っ込んでいる」と言われたフォームを修正したら結果が出て、一つ手応えをつかみました。試合に出る機会が増えましたが、今は思い切ったスイングを心掛けています。守備が得意ですが、打つ方も自信が付いてきました。売りはミート力。守備から打撃につなげたいです。甲子園のグラウンドに立てる実感はまだ湧きません。緊張してバニクにならぬようにしたいです。フルスイングで頑張りたいです。

(36) 大阪府在住の16日、同校の練習試合の観戦に訪れた。光星が甲子園出場を決め関西入りした際は「うれし限り」としみじみ。この春もぜひ勝ってほしい」と開幕を心待ちにしていた。

光星は97年春、夏の甲子園にそれぞれ初出場。同校